



聖徒のための情報誌

今月号の内容

- お彼岸をむかえて(1面)
- 俱生神月守とお題目への信仰は 靈驗奇跡を起す(2面)
- 日蓮大聖人の歩まれた道 法華経のお話(3面)
- よろこび法話(4面)

平成26年(2014年)3月1日(土) 3月号

発行所
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町3-25-11
九段中央ビル702
日蓮宗霊断師会九段事務所
電話 03-6272-9340
FAX 03-6272-9341

日蓮宗霊断師会

会長 新聞 智雄
編集人 松本 恵昌
購読料 1部 105円
毎月1回1日発行
日蓮宗霊断師会ホームページ
http://www.yorokobi-reidanshikai.jp
よろこび投稿メール
yorokobi@yorokobi-reidanshikai.jp

お彼岸をむかえて



日蓮宗霊断師会 副会長
日蓮宗宗会議員
千葉県市原市正蓮寺聖徒団团长
大塩 孝 信

今年も三月十八日から二十四日まで、二十一日の春分の日を挟んで一週間の春のお彼岸を迎えます。「彼岸」とは、常に流転変化し苦しみ多き迷いの世界を「此岸」というのに対し、生死を離れた平安な世界をいい、その悟りの境地に至ることが仏教の究極の目標です。日本独特の行事でもあります。

私は昨年暮れに、日蓮宗宗務総長より本宗伝道部長を拝命し、御会式の万燈行列で有名な池上本門寺境内にある日蓮宗宗務院に毎日、坂を登って登院しています。この池上本門寺正面に在る石の階段は、「此経難持坂」と呼ばれています。

此経難持坂は、加藤清正公が寄進されたものと伝えられ、法華経見宝塔品の末尾九十六文字の偈文の文頭にちなんで名付けられました。

弘長元年に日蓮大聖人が伊豆の伊東へ流罪される際(伊豆法難)、共に流罪にするよう懇願した弟子の日朗上人は、腕を船の櫂で叩かれ、手を打ち砕かれてしまいます。

この時、由比ヶ浜から船が出て行くのを見送る弟子や檀越たちに向かつてお読みなされたのが法華経見宝塔品第十一の末尾九十六文字の偈文(宝塔偈)であり、波に揺られながら唱えられたことにより、現代のような独特な拍子

で唱えられるようになったと伝われています。

此経難持 若暫持者 我即欢喜
諸仏亦然 如是之人 諸仏所歎
是則勇猛 是則精進 是名持戒
行頭陀者 則為疾得 無上仏道
能於來世 讀持此經 是真仏子
住淳善地 仏滅度後 能解其義
是諸天人 世間之眼 於恐懼世
能須臾説 一切天人 皆応供養

現代訳は

この経は持ち続けることが困難である。もししばらくでも持ち続ける者がいたならば、私はすぐさま歓喜するであろう。仏たちもまた同様である。そのような人は、仏たちに賛嘆される人である。その人は勇猛な人であり、精進の人である。その人を、戒を遵守し、衣食・住にこだわらない修行をなすものと名づける。その人は、すみやかにこの上ない仏道を体得したものののである。未来の世に、この経典を読み、保持する者は、真の仏子であり、混じり気のない善なる境地にとどまるのである。仏の入滅の後、この経典の意義を理解する者は、多くの天や神や人々、その世界の眼となる。恐ろしい世に、ほんの短い間でも説くことができる者には、(そのものに)すべての天の神々や人々が供

養をなすであろう。

私はこの坂を登るのに息が切れて、何度も途中で休まなければなりません。毎日歯をくいしばって頑張つて、やっと登っていました。そんなある日、七面山を登る時に行脚のいでたちで団扇太鼓を叩き、お題目を唱えながら登っていたことを思い出して、「此経難持」を誦しお題目を唱えながら登つてみたら途中で休むこともなく、楽に階段を登れたのです。

お題目を唱えることにより余計な力が抜け、呼吸のリズムも安定し、苦しむことなく登れるようになったのです。「彼岸」は、遠くに在るものではありません。貴方のすぐそばにあるのです。俱生神月守を着帯し、お題目を唱える貴方の今いる場所が「彼岸」なのです。

俱生神月守の着帯を勧め、お題目の輪を広げる貴方には「此経難持」の功德がやどり、「彼岸」の世界を生きる事が出来るのです。



津軽宇田山 閻法寺



3月21日 午前9時半より
「春季彼岸水子供養会」
3月24日 午前10時より
「海上大施餓鬼流し供養会」
春彼岸一週間
午前5時20分より水行修行会
〒030-1403
青森県東津軽郡外ヶ浜町平館元宇田52-2
TEL 0174-25-2712
住職 工藤 堯幸
副住職 工藤 堯慎・修徒 工藤 堯顯



妙正寺聖徒団 我妻百合香
旭川FMリベールFMラジオ
「マダムケロコ」のちよと長話
3月10日、25日午前11時より
閻魔大出演中
インターネットでも聞くことが
できます
サイマルラジオから
旭川FMリベールをクリック
3月23日(日) 11時
春季彼岸会塔婆供養
毎月1日午前10時 盛運祈願会
妙正寺聖徒団 团长 関 龍雄
〒071-1423
北海道川上郡東川町東町2丁目6-3
TEL 0166(82)2714 FAX 0166(82)2914



いかされるよろこび
美濃乃國
常唱寺 聖徒団
〒501-3734
岐阜県美濃市千畝町2738-2
TEL/FAX 0575(33)1430



本山 妙顕寺
本山 佐野
天目聖人御報恩
平成屋根等大改修
ご寄付募集中!
●郵便振替
口座番号 00180-6-267327
口座名義 妙顕寺建設委員会
〒327-0843 栃木県佐野市堀米町264
TEL 0283-22-1524
FAX 0283-22-4194
http://www.sano-myoukenji.jp



日蓮宗霊断師会会長
感通寺聖徒団团长
新聞 智雄
〒162-0044
東京都新宿区喜久井町39
TEL 03-3209-8782
FAX 03-3208-7966

俱生神月守とお題目への信仰は

霊験奇跡を起す

平成二十五年十一月九日、当山の電話が鳴りました。「お上人、母が、母が…」と言ったまま後が続きません。落ち着かせて詳しく尋ねると、長野に住む私の叔母（母の妹・利子）さんのお嫁さんからの電話でした。

叔母さんが、前日の八日、少し気分が悪いと言うので、かかり付けの病院に連れて行って治療してもらっているうちにイビキをかいて寝てしまい、一晩経っても全く起きる気配がないとの事。

利子さん一家は熱心なご信者さんで、二十年以上に亘って俱生神月守を着帯し、嫁ぎ先のご宗旨は違ってもお題目へのご信仰は大変深いものがありました。「しばらく様子を見ましょう。手の施しようがありませんので」との医師の見立てを聞いたお嫁さんは、イビキをかいて眠っていないながらも、右手にしっかりと俱生神月守を握りしめている叔母の姿に、お上人にお願いで、目が覚めるようご祈祷をしてもらおうと電話をしてきたのでした。

すぐに霊断を見ました。このまま目が覚めない可能性が高いが、一縷の望みがあるとの霊示でした。

この時、私はなぜか確信にも似た「必ず目が覚める」との強い意志を感じました。

すぐに副団長の裕孝上人と共に御宝前で目が覚めるようにご祈禱を行ない、ご祈禱を終えてから、「必ず目覚めるから連絡を下さい」と、叔母の家族に伝えました。

仕事が重なり時間がなかなか取れず、訪ねて行く事も出来ず、そうこうしている内に、九日、十日、十一日と三日過ぎても連絡はありません。

イビキをかいて眠りに入っただけで、四日目に漸くあつた電話も、医師の見立ては「あまり長いと、このまま目が覚めない確率が高くなります。」との事。

私は、何とかしたいとの思いから時間をやりくりして、副団長と二人で片道五、六時間はかかる道のりを車を走らせ、十二日に長野の病院に向かいました。病院には、神奈川で家庭を築いている長男も含め、家族全員が揃い、叔母の目が覚める事を祈って左手を握りながら名前を呼び続けていました。

叔母は、右手にしっかりと俱生神月守を握りしめ、まるで小さな寝息をたてて気持ちよさそうに寝入っているようでした。

すぐに病室で小さな声でご祈禱を始め、副団長と共に各々の撰経と木剣と俱生神月守で、身体中を拭き取りました。

ご祈禱後、左手を握りながら語りかけた時、一瞬指が反応したように感じ、必ず目覚めるとの確信を得た私でしたが、病室にいた間に叔母が目覚める事はありませんでした。

「息のあるうちにわざわざ病室を訪ねて下さり、ご祈禱まで受けられて母はさぞ満足でしょう。」と家族はお礼の言葉を述べてくれましたが、私は必ず目覚めるとの確信にも似た思いを指が反応したことに関連して伝え、「お大事に」の言葉を残して家路に着いたのでした。

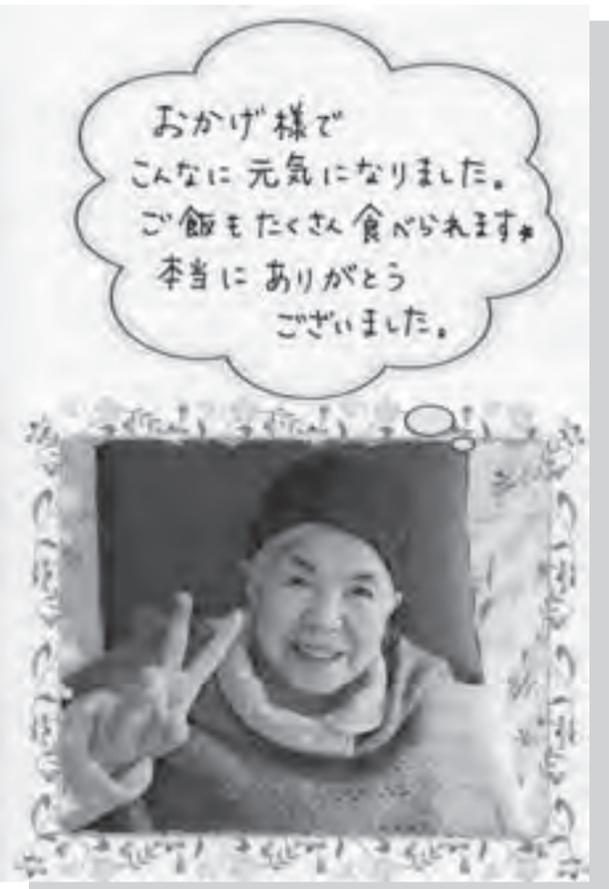
翌十三日早朝、電話のベルが鳴りました。電話口から届いた声は「母が

目を覚ましました。」の一言。

当初、私は目が覚めるだけで口も利くことが出来ず、食事も食べることが出来なければ申し訳ないと思っていましたが、写真や手紙にあるように叔母はその後驚くほど見る見る回復していききました。

本人の強い俱生神月守とお題目への信仰と、優しい思いやりのある生き様が、ご本佛様や日蓮大聖人様、亡くなられた父母や姉文子（私の母）、ご主人さまやご長男に届き、寿命を頂いたのでしょうか。

どうぞ聖徒の皆さま、神秘体験、霊験奇跡は、俱生神月守とお題目への信仰、そして優しさを持った生き方をなさる全ての人に約束されているのです。そんな生き方が出来るよう、共に常精進してまいりましょう。



千葉県市原市正蓮寺聖徒団副団長

同 大塩 孝 信
大塩 裕 孝

【利子さんのお孫さん 菜つ美さんからのお礼の手紙】

孝信様、皆様
先日はお忙しい中、長野まで駆け付けて下さり、本当にありがとうございました。みなさまのお祈りと優しいお気持ちのおかげで、おばあちゃんは戻ってこれたのだと思います。たとえ目が覚めても、食べることも話すこともできないかもしれない・・・という状態から日に日に回復をして退院し、今では自分で著で食事が出来て、話もしっかり出来るようになりました。写真の笑顔を見て下さい、すっかり元気です。

五日間も眠っていたのと、三週間の入院で体力・筋力が低下した為、まだ終日ベッドでの生活ですが、春になったらまたデイサービスに行ける様にと毎日がんばっています。

少し弱くなってしまう手で、一生懸命お手紙を書きました。おばあちゃんの気持ちです。おばあちゃんも母も兄も私も本当に感謝しています。

入院中、頂いたお守をずっと懐に入れていました。ずっとおばあちゃんを守って助けて下さいました。お守の力はすごいですね。おばあちゃんのかわいい笑顔を取り戻してくれました。

今年も無事に三人でお正月を迎えることができます。「紅白をみて、かす汁とおそばを食べる。」と楽しみにしているおばあちゃんをみて、母と二人「本当に良かった。」

本当に幸せだね。」としみじみ思っています。

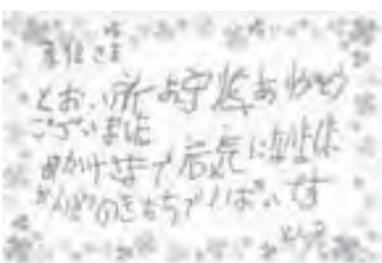
年の瀬で皆様大変お忙しいと思いますが、どうかお体ご自愛下さい。『もう一度、千葉のお寺へ行って、お姉さんにお線香をあげたい・・・』最近おばあちゃんがよく口にします。その願いを叶えてあげたい・・・本当に行けるといいなあ・・・と思っています。

菜つ美



【利子叔母さんからのお礼の手紙】

孝信さま
とおい所 お守りをありがとうございました
おかげさまで 元気になりました
かんしゃのきもちでいっぱいです
としこ



第三十三回 日蓮大聖人の歩まれた道

清澄への帰山



総合研究所
教学研究部長
小泉 輝泰

「安房国清澄山住人 蓮長撰

一者小乗戒体。二者権大乘戒体。

分爲四門。三者法華開会戒体。法華

涅槃之戒体小有不同。四者真言宗戒

体(中略)仁治三年壬寅」

(戒体即身成佛義)

る若い僧侶が、我も我もと
押しかけたことでしょう。

もちろん、蓮長が山内の

僧侶にもたらしたのは、た

だの土産話だけではありま

せん。大聖人の伝記として

知られる『元祖化導記』に

は、「ある記にいわく初めに

浄土宗を習うて本山に還り

寺僧等にこれを教う」との

記載もありますので、浄土

宗や禅宗の教義など、鎌倉

で学んだ最新の学問を山内

の学僧たちに教示したもの

と思われます。

しかし、それらの学問を単純に「素

晴らしい教え」として伝えたかは、

いささか疑問が残るところです。そ

れは、これまでにお話しした鎌倉修

学による蓮長の心境を考えれば、皆

さんにもご理解いただけることと思

います。

だからといって、こ

の時点でいきなり浄土

や禅を批判したのかと

いえば、そういったわ

けでもなさそうなので

す。何故ならば、後の

立教開宗の折、持佛堂

にて大衆の面前で諸宗

の批を明かすと、初め

てそれを耳にした聴衆

は大変驚き、怒りを露

わにした者たちに山を

追われたとされていま

す。立教開宗は十年も

後の話ですので、もし



法華経のお話 31

総合研究所主任

塩入 幹 丈



無量義経の段十四年三月

大轉輪王小轉輪王。金輪銀輪諸轉
輪王。(無量義経徳行品第一)

①まあレプカに伝えてくれや。今か
ら、そっち行ってくてな!

(ダイス船長)

波平さんばかりが取り沙汰される結

果となった、永井一郎さん急逝の

ニュース。されど波平さんだけが永井

一郎には非ず。もつとダイス船長、そ

してジョドのことも語られるべし。

そう、ダイス船長と言えは「未来少

年コナン」、ジョドと言ったら「ルパ

ン三世カリオストロの城」の名キャラ

クター。

どちらも昨年突然の引退宣言で世間

を驚かした(一部では「またまた言っ

てる」とも囁かれていた)、あの宮崎駿

監督の初期代表作(前者は初テレビ作

品、後者は初映画作品)なわけですが、

その宮崎監督の作品中、最もヒットし

た作品(というか、国内における洋画

邦画併せての興行収入第一位)と言え

ば(残念ながら永井さんは出てません

が)もちろん二〇〇一年公開の「千と

千尋の神隠し」ですね。

トンネルの向こうの不思議な町に迷

い込んだ少女荻野千尋は、魔女湯婆婆

によって両親を豚に変えられ、あまつ

さえ自身は魔女の経営する湯屋(銭湯

で下働きさせられることとなり……、



②今からおまえの名前は千だ。いいか
い、千だよ。(湯婆婆)

まず千尋は魔女湯婆婆から名前を奪
われた上に、「千」という名前に変えら
れることで、彼女に従属させられてし
まいます。そんな彼女を影から助ける
謎の少年ハクは、決して千尋という本
名を忘れないようにと助言します。

なぜならそのハクもまた、湯婆婆に
本名を奪われて、別の名に変えられた
身の上。しかも本名を忘れてしまった
ハクは、湯婆婆の完全なる支
配下に置かれ、命を削つてま
でして、婆婆のために使役さ
れていたのです。

いいようにこき使われ、衰
弱していくハクを助けるた
め、千は奮闘します。その甲
斐あって、ついにハクがその
本来の名前「ニギハヤミコハ
クヌシ」(天孫降臨された「二
ニギノミコト」、神武天皇の
曾祖父)に先立ち、高天原か

ら日本へ降臨されたという神様、「ニギ
ハヤミノミコト」がモデルだそうです
ね)を思い出すことで、魔女の呪縛を
断ち切り、神として再生するシーンこ
そが、いわばこの作品最大のクライ
マックスとなります。

③名前を恐れていると、そのもの自身
に対する恐れも大きくなるのだよ
(ダンブルドア)

名前はその人の本質そのものを司る
が故に、どんなに扱われることは、
その人自身の本質がどんなに扱われ
ることとなります。悪意を以って使用
されると危険が及ぶことにもなりかね
ません。

だからこそ古の人々にとって、互い
に本名を呼ぶことは厳重なるタブー
だったのです。そこで、代わりとなる
字や称号と言った仮の名で呼び合っ
ていたんですね。

いわばギリシアのアキレスにとって
のアキレス腱、ミケーネの戦闘獣に
とつての人間部分のように、本当の名
前こそが、私たちの弱点となるもの
だったわけですね。

されど、私たち普通の人間とは異な
るより強大なるもの、高次なる存在の
名前の場合、それは弱点ではなく、逆
に大なる攻めの一手、必殺の呪文に
なっちゃう場合もあるのです……。



よろこび法話

いちばんの菩提の種はお題目



日蓮宗断断会 指導 研修部長
島根県益田市妙法寺聖徒団長
蔵本 知宏

まず数年前に朝日新聞の『声』欄に掲載された文章を引用させていただきます。

『戦後、家庭・教育の場から宗教が排除され、そのほころびが、今随所で表面化しています。「人はどこから来て、どこへ逝くの。死んだらどうなるの」という疑問の前に、「魂など無い。自分が生きたいように生きれば良い。やりたいようにする」などと、誤った唯物論的人生观を持つ利己的な青少年も増えていきます。(中略)人間は罪の子ではなく、仏の子で、輪廻転生して魂を磨く生活を教えれば、努力する意味も甲斐も出てきます。子供たちに希望の持てる人生を教えるあげることが、日本をすばらしい国にしていくことになりませう』

これを投稿された女性の方に脱帽です。お彼岸というこの良い機会に、私も仏の子として魂を磨く生活を考えてみたいと思います。

今日彼岸 菩提の種を 蒔く日かな

「菩提の種」とは仏になるための種のことです。種蒔きとは善行をすることです。善行とは人の役に立つこと、人を喜ばせることです。これを菩薩行といいますが、笑顔で接すること・優しい言葉をかけること・困っている人に手を貸すこと・ゴミを拾うこと・お掃除をすること等々。受けた人が喜ぶことはすべて善行(菩薩行)です。そして受けた人の心には自然に「菩提の種」が蒔かれるのです。

種は人の心に蒔くものです。すべての人の心には必ず御本仏が眠っています。その御本仏を呼び起こしてくれるのが「菩提の種」。「菩提の種」を蒔くとは、善行によって人の心の中の御本仏を呼び起こすことなのです。この善行の功德はとても大きなものです。この功德によって、知らず知らずの内に自らの心をも磨いているのです。この心を磨く生き方こそが幸福への早道なのです。

諸悪莫作 衆善奉行 自浄其意 是諸仏教
ありとある悪を作さず ありとある善きことは身をもって行い おのれの心を浄めん これ諸仏のみ教えなり

この『七仏通誠偈』の教えは、私たちにこのことを教えて下さっているのです。

中国の故事にこういってお話があります。ある有名な詩人が禅僧に尋ねます。

「仏法の大意とは何ぞや」
これに老僧が答えたのが前述の『七仏通誠偈』だったのです。

その詩人は「そんなことは三歳の童子でも知っています」と言い返します。これに対して、

「三歳の童子が知っていても八十の老人すらこれを実行することは難しいぞ」と老僧。詩人は返答ができなかったというお話です。

知っているということ、実行するということとは違いますね。この故事は、実行するということが如何に大切で難しいかということを私たちが



ちに教えてくれているのです。お互いに「菩提の種」をしっかりと蒔いて、人々の心の中の御本仏を呼び起こし、自らの心を磨いて浄くしていきたいものですね。

しかし悲しいかな、多くの人が毎日の生活の中で、魂を磨くどころか逆に魂を汚してしまっていて、本来の生きる目的を見失い、本当の幸福への道に迷っているのが現在の有様なのです。まさに修行は難しですね。

日蓮大聖人さまは、「いちばんの「菩提の種」はお題目」と教えて下さいます。このお題目を自身の為だけでなく、他の人の為にお唱えすることが最良の種蒔きになるのです。

御本仏さまがお住まいになる世界が彼岸の世界。種蒔きをいっぱいして、ご本仏さまのお手伝いをしていらっしゃる人が住むところも彼岸の世界。彼岸は決して手の届かないところにあるものではありません。あなたがお題目を唱えるところは彼岸です。家族で唱えればその家庭は彼岸の家です。これが全国・全世界に広がれば、世界全体が彼岸の世界になるのです。これが御本仏さま、大聖人さまの願いです。

この有り難いお題目とご縁をすでにいただいている私たち聖徒は、このいちばんの種蒔きが出来るとは、またそれを実行することが、私たち聖徒の大いなる使命です。

そのことを再認識し、まずはこのお彼岸の一周間、一度は必ずお寺参りをし、ご家族のため・仲間のため・ご先祖のため、そして自身のために一心にお題目を唱えましょう。

困っている人がいれば、自身の経験話してあげましょう。お寺との出会い・お題目との出会い・霊断法との出会い・俱生神月守との出会いを伝えてあげて下さい。有り難さを知って自分だけのものにしていただけるとは、使命を果たすことにはなりませんよ。

身延大会と枝垂れ桜

宗祖日蓮大聖人の魂魄おわします身延山。文永十一年(一二七四年)五月、大聖人がご入山されたことから始まります。大聖人はご生前、桜の花をこよなく愛されました。ご遷化(死去)の際には、十月にもかわららず、桜の花が一面に咲いたと伝えられます。枝が滝のように地面に向かう枝垂れ桜は圧巻で、その見事な姿は全国屈指。春には欠かせない存在です。

しかし、老桜ゆえに樹勢は衰え枝は折れ、数年で花が激減しています。



雨の日も風の日も、参詣する皆様を見守ってきえてくれた枝垂れ桜。「治療して、昔のように元気な姿に蘇らせたい」。実は、身延大会への皆様の「参加が、桜を元気にする活動に役買っているのです。身延大会は、宗祖日蓮大聖人へ報恩の誠を尽くすため、皆様とともに作り上げる年に一度の一大式典です。五月二十日・二十一日に開催される全国結集身延大会に是非ともご参加ください。先祖代々参詣する皆様を見守ってくれた身延の桜が、今後も皆の子や孫を迎え続けてくれるよう、切に願っております。

本誌イラスト 小川けんいち

砥森山 法華寺

生きて救われの道場

住職 阿部 是秀
副住職 阿部 是眞

〒028-0304
岩手県遠野市宮守町下宮守31-69-1
電話 0198-67-3166
FAX 0198-67-2227

正立山 妙法寺番神聖徒団

団長 新聞 信應

毎月1日 10時 盛運祈願祭

お困り事はすぐ相談

神秘秘密の扉が開く時、必ず利益がいただける。

〒690-2404 島根県雲南市三刀屋町三刀屋1169
TEL 0854-45-3657
FAX 0854-45-3666

安房乃國隨一 三十番神祈願道場



顕本寺聖徒団
団長 小泉 輝泰

「1人で悩まず、まずは相談」

〒295-0002
千葉県南房総市千倉町川合690-1
TEL 0470-44-1062
FAX 0470-44-1524

信用第一の専門店

◇格調高い関東風仏具◇

宗務院指定

仏壇・仏具 仏像彫刻
内陣荘厳具 設計製作

(株)中野三佛屋

東京都台東区寿2丁目7の12
電話 03(3843)6951
FAX 03(3843)6973
定休日 日曜日

北海道運輸局長 認証工場(第4-1095号)です!

お車のことなら どんなことでも!!



車買取の **エース**
TEL 0166-34-3606

(有)キクチ自動車
〒078-8346
北海道旭川市東光6条6丁目190-100
TEL/FAX 0166-34-3606